



講座のアピールポイント

小児看護学領域では、子どもと家族の健全な発達や健康を維持増進するための支援、病気や障がいをもちながら生活する子どもと家族への看護ケアについて、看護学部生および大学院生への教育を行っています。あらゆる健康レベル、発達段階にある子どもたちへのサポートを看護学の視点から研究し、実践しています。また、社会貢献活動として、以下の活動に取り組んでいます。

- ・ 小児医療や看護に関心を寄せる方々の交流の場である「Child (ちやいるど)」を、年2回開催しています。
- ・ 病気の子どもと家族のサポートグループ「つぼみの会」を運営し、小児病棟や患者家族と協働して、より良い療養環境と生涯にわたる支援を行なっています。
- ・ アレルギーに特化した小児アレルギーエデュケーターとして、就学前施設や学校を対象とした食物アレルギー教室を開催しています。
- ・ 全国唯一の新生児集中ケア認定看護師教育課程（地域共生協創センターに設置）の講義等に協力し、看護実践者の生涯教育にも貢献しています。

講座研究紹介

小児看護学領域に所属する教員が取り組んでいる研究です。

- ・ 新生児集中治療室（NICU）での注射・採血技術に関する研究
- ・ 後期早産児の子育てに関する研究
- ・ 新生児のおむつかぶれに関する研究
- ・ 新生児集中ケア認定看護師教育と新生児医療での特定行為研修に関する研究
- ・ 看護学生への小児看護教育に関する研究
- ・ 小児がん経験者の治療後の生活に関する研究
- ・ 小児がんの家族に関する研究
- ・ アレルギーをもつ子どもやその家族に関する研究